

単元名 2 新しい視点で ー漢字に親しもう2
配当時間 1時間

単元の目標 (1) 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。
 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、
 文や文章の中に使うことができる。
 (3) 積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

標準的な展開例

10210112_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 練習問題に取り組む。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 漢字を使いこなそう。 ○ 新出漢字の確認をする。 ○ 練習問題に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時は、小学校6年生で習った漢字を中心に練習問題に取り組んでいくことを伝える。 ・ 言葉の意味が分からないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ・ 「小学校六年生で学習した漢字」(p.255)に合わせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。 【評】 練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

中学校での本格的な国語学習として、このまとまりでは、説明文の読みや記録の仕方の工夫について練習するなどして、説明や記録の基本的な事項について考えていく。現行の学習指導要領の特徴の一つは表現の工夫を読み取ることにあり、そこに焦点化する最初の学習となる。展開の違う二つの文章を読むことを通して、表現の工夫に気付かせたい。

また、好きなものを紹介する活動や情報の集め方を知る活動は、より広く多様なものの見方などに触れることができる。「情報社会を生きる」では、中学校での情報活用能力についての学習の基本として押さえておきたい。